

## スーパージュニア選手育成プログラム 2013

8月10日(土)に「スーパージュニア選手育成プログラム 2013」が、コカ・コーラウエスト広島スタジアムの陸上競技場にて行われた。スーパージュニア選手育成プログラムとは、小学校高学年の児童が、さまざまな特性のスポーツを直接体験し、適性があるスポーツをみつけるためのプログラムである。



子ども達と活動する  
中国電力の選手達



今回は、中国電力陸上部から田子選手、本多マネージャーが、約50名の小学生に指導を行った。プログラムは、初めに講義を行い、夢を持つこと、勉強すること、スポーツにおける落とし穴などについて対話形式で進めた。その後実技に移り、メイン練習では、決められた距離を決められた時間で走るペース感覚体感練習や、中国電力選手と競走する、ミニ駅伝などが行われた。当日は暑い中での開催となったが、田子選手は「暑く厳しい環境の中、全力で取り組む参加者の姿に志の高さを感じた。これからの活躍に期待したい。」と感心していた。



## 羽ばたけ~未来のアスリート！

未来のアスリート育成のため平成25年7月30日、31日呉市の安浦公民館において広島県教育委員会主催によるジュニア選手強化プロジェクト(バドミントン)が行われた。県内の高校1・2年生、選抜された中学生、中高のバドミントン指導者、総勢100名が集合し競技力強化のための講習会が行われた。このプロジェクトは全国大会等(中学・高校)および国民体育大会で優勝が期待できるジュニア選手を育成するため、県内指導者と競技団体の連携を図り、全国で通用する指導体制を構築する目的で開催されている。ジュニア選手は、広島ガスの選手とゲーム練習したり、基礎的な練習を分かりやすく指導を受けたりと充実した2日間を送っていた。この2日間で学んだものを、試合や練習で活かし、ジュニア選手の今後の飛躍に期待したい。



各チームの1押し選手を紹介します。

### ☆選手紹介コーナー☆



コカ・コーラウエスト  
レッドスパークス  
湯田葉月

|      |           |
|------|-----------|
| 生年月日 | 1989/7/11 |
| 身長   | 167cm     |
| 血液型  | A型        |
| 出身地  | 大阪府       |
| 趣味   | マリンスポーツ   |

担当者からのコメント

長いリーチと俊足を活かしたプレーで得点に期待！



## 国体出場権獲得！！

国民体育大会中国ブロック大会は、8月17、18日に山口県周南市の麒麟ビバレッジ周南庭球場で行われた。この大会は、5県のリーグ戦で上位2県が10月に東京都で開催される「スポーツ祭東京2013」第68回国民体育大会に出場することが出来る。

成年男子の結果は、1戦目広島(3-0)島根、2戦目広島(3-0)鳥取、3戦目広島(3-0)山口、4戦目広島(3-0)岡山であった。成年女子の結果は、1戦目広島(2-1)岡山、2戦目広島(3-0)山口、3戦目広島(3-0)島根、4戦目広島(2-1)鳥取であった。

男女共に、1位通過で国体の出場権を得ることが出来た。



### ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。



# トップスニュース

**Vol.53**  
2013年08月25日

**加盟  
団体**



サンフレッチェ広島



JTサンダーズ



ワクナガレオリック



広島メイプルレッズ



広島ガス  
バドミントン部



NTT西日本広島  
ソフトテニスクラブ



中国電力  
陸上競技部



コカ・コーラウエスト  
レッドスパークス



広島東洋カープ

トップス広島 事務局

〒733-0036

広島市西区観音新町4-10-2

TEL:082-233-3233

FAX:082-233-3251

URL:www.tops-h.net/

このQRコードから  
公式Webサイトへ  
アクセスできます。



## 中国ミニ国体！！

8月17(土)、18(日)の二日間、山口県で中国ミニ国体が開かれた。トップス広島加盟の6チームが参加し、9月1日(日)の中国・北信越代表決定戦の結果で出場権の獲得となるコカ・コーラウエストレッドスパークスを除く5チームが国体出場権を獲得した。さらに全チーム1位通過と、私達にとっても大変うれしい結果となった。この調子で選手達には全国の間でも素晴らしい活躍を期待する。



**JTサンダーズ【成年男子】**

▽1戦目：広島 3 (25-17、25-14、25-16) 0 鳥取

▽決勝戦：広島 3 (25-22、25-16、25-19) 0 山口



**ワクナガレオリック【成年男子】**

▽順位決定戦：広島 40 (20-10、20-7) 17 岡山



**広島メイプルレッズ【成年女子】**

▽2回戦：広島 32 (20-7、12-9) 16 山口

▽決勝戦：広島 37 (19-2、18-4) 6 鳥取



**広島ガスバドミントン部【成年女子】**

▽1戦目：広島 2-1 鳥取 ▽2戦目：広島 2-1

岡山 ▽3戦目：広島 2-1 島根 ▽4戦目：

広島 2-1 山口



**NTT西日本広島ソフトテニスクラブ【成年男子】**

▽1戦目：広島 3-0 島根 ▽2戦目：広島 3-0 鳥

取 ▽3戦目：広島 3-0 山口 ▽4戦目：広島

3-0 岡山

**NTT西日本広島ソフトテニスクラブ【成年女子】**

▽1戦目：広島 2-1 岡山 ▽2戦目：広島 3-0 山

口 ▽3戦目：広島 2-1 鳥取 ▽4戦目：広島

3-0 島根



**コカ・コーラウエストレッドスパークス**

▽2回戦：広島 8 (3-0、5-0) 0 島根

▽決勝戦：広島 6 (4-0、2-1) 1 鳥取



## 子どもとハンドボール

8月8日から10日まで広島サンプラザにて第3回 JHLジュニアリーグの西ブロック大会が行われた。日本ハンドボールリーグ機構では社会貢献と地域密着活動の一環としてジュニアチームの設置・運営を掲げており、今回はそのジュニアチームの大会が行われた。対象が小学生ということで、夏休み期間中のこの時期に行われ、沖縄などから6つのチームが参加し、メイプルレッズの全選手が大会審判、記録係などで参加した。男子の湧永レオリックからも東江選手、樋口選手が参加した。優勝した男子琉球コラソンジュニアと女子オムロンジュニアピンディーズは3月プレーオフの前座で東ブロックの勝者と戦う。男子ワクナガレオリック安芸高田は悔しくも2位、女子広島メイプルレッズジュニアは3位に終わった。大会期間中は子どもたちと交流会の場も設けられ、あこがれの選手たちに少し近づけたような、そんな夏休みになったのではないだろうか。



## 国体出場権獲得！！

「東京に 多摩に 島々に 羽ばたけアスリート」をスローガンに9月28日(土)から10月8日(火)まで多摩・島しょ地域を中心に、東京都全域を舞台として開催される「スポーツ祭東京2013」(第68回国民体育大会)への出場権をかけた中国ブロック予選が8月17日(土)、18(日)の2日間、山口県光市で行われた。

バドミントンは、光市総合体育館で行われ、成年女子の広島県代表としては、広島ガスが挑んだ。成年女子はリーグ戦で行われ、5県のうち、3県出場権獲得ができる。昨年は、国体出場権を得たものの、鳥取に敗れ2位に終わった。しかし今年は、去年の雪辱も果たし、予選で見事全勝し、1位で国体出場権を獲得した。

この勢いで、国民体育大会本大会も頑張ってもらいたい。





## 中国ブロック大会優勝！！

8月16日（金）から18日（日）で山口県玖珂総合公園人工グラウンドにおいて開催された、第68回国体中国ブロック大会にCCW レッドスパークスは広島県成年女子として出場した。17日島根県との闘い。試合開始5分新井選手が確実にシュートを決め、先制点をあげた。パスをしっかりと繋ぎ試合のリズムを作り勢いにのり、8-0で試合を終えた。翌日18日には鳥取県との決勝戦。試合開始から積極的に攻撃する広島県は、開



始6分川端選手が倒れこみながらボールを押し込み、先制点をあげた。勢いにのり前半で8本のペナルティコーナーを取得し、その内3本をきめて4-0で前半を折り返した。後半に入っても果敢に攻め追加点をとりに行くが、相手のカウンターをきっかけにゴールを決められ1失点。しかし、相手に勢いつかせることなく気持ちを切り替え、2点を追加し6-1で勝利。中国ブロック大会優勝で幕を閉じた。次回は9月1日にて岡山県赤磐市熊山運動公園多目的広場で開催されるブロック間代表決定戦にて北信越ブロック代表と対戦する。良い活躍を期待したい。



## 全日本実業団選手権出場！

ソフトテニスの全日本実業団選手権大会は、7月27、28日に長崎県佐世保市総合グラウンド庭球場で開催された。男子は、134チームのエントリーがあり、5回戦で、昨年度チャンピオンの大鹿印刷(岐阜)と対戦し、2-0で勝利し、勢いをつけて、決勝に進出したが、ヨネックス(東京)と対戦し、1-2で敗れ惜しくも優勝を逃した。女子は、16チームのエントリーで、準決勝で、今大会優勝の東芝姫路(兵庫)に0-2で敗れ、3位となった。



## 中国ブロック大会優勝！ いざ国体へ！

8月17日、18日に山ノ口スポーツ文化センターで行われた第68回国民体育大会バレーボール競技中国ブロック大会に広島県代表として参加したJTサンダーズ、国体へ繋がる最初の一歩として緊張がみられると思ったが、安定したチームワークで見事ストレート

に勝ち進み優勝を手にし、国民体育大会への出場が決定した。新たな監督を迎えての初試合で見事な勝利を収めたJTサンダーズ。今後どのような試合を見せてくれるのか期待したい。



## 7/26~8/25 トップス広島 試合結果

### カープ

#### ▽公式戦

7/26 カープ ○ 6-5 ●ヤクルト  
7/27 カープ ● 3-7 ○ヤクルト  
7/28 カープ ○ 10-7 ●ヤクルト  
7/30 カープ ● 1-6 ○DeNA  
7/31 カープ ○ 11-3 ●DeNA

8/1 カープ ○ 7-6 ●DeNA  
8/6 カープ ○ 1-0 ●阪神  
8/7 カープ ● 1-7 ○阪神  
8/8 カープ ● 0-1 ○阪神  
8/9 カープ ● 4-5 ○巨人  
8/10 カープ △ 5-5 △巨人  
8/11 カープ ● 1-6 ○巨人

### サンフレッチェ広島

#### ▽Jリーグ2013

7/31 サンフレッチェ広島 ○ 3-1 ●大宮アルディージャ  
8/10 サンフレッチェ広島 ○ 2-1 ●ジュビロ磐田  
8/17 サンフレッチェ広島 △ 1-1 △名古屋グランパス

《※広島で行われた試合のみを掲載しています。》



## ついに単独首位へ！ サンフレの夏、今ここに始まる！

7月31日(水)エディオンスタジアム広島で行われた、勝ち点36点で並ぶ大宮アルディージャとの首位攻防戦。誰もが注目した一戦は、石原直樹選手が自身プロ初となるハットトリックを決め3-1で勝利。サンフレッチェ広島は2位の大宮アルディージャに差をつけ、単独1位となった。ハーフタイムには、夏休み特別企画の打ち上げ花火が上がり、スタジアム全体を彩った。特に、サンフレッチェ広島の三本の矢を主張する紫の花火が打ち上げられた時、スタジアム全体は大歓声に包まれた。それはまるで、勝利を確信させるような花火であった。

勝利の瞬間、サポーターは「今夏のサンフレッチェ広島の戦いぶりは、昨年に比べて、強さを身につけているように思える。」と語った。選手間のぶれない冷静な判断が王者広島の強さを支えている。今後も一戦一戦、勝ち点を積み重ね、優勝に向かって突き進んでもらいたい。



## マエケン、11勝目！！中日突き放す！！



(11勝目を挙げた前田健太投手)

8月20日、中日との3位攻防戦初戦で広島・前田健太投手(25)が7回を4安打無失点に抑え、自身5連勝、11勝目を挙げた。初戦必勝を誓っていたマエケンが、宣言通りに竜を斬った。この勝利でチームは、通算14勝6敗。ゲーム差を1・5に広げ、ライバルを突き放す大きな勝利となった。先制点ももらった二回以降、三塁すら踏ませなかった。大量リードもあり、110球で仕事を果たした。7月14日のヤクルト戦で7勝目を挙げてから自身5連勝。後半戦は負けなしと、完全に復調した。中日とのゲーム差を1・5に広げ、3位を死守した。今季、天敵中日にはこれで9勝7敗。21日からのナゴヤドームにもこれで勢いが付いた。「2度、(出場選手登録を)抹消されている。何とか最後までいい結果を出したい。僕が最高の数字を出さないと、優勝もCSもない」とマエケンは言う。「リーグ3冠」がCS争いの赤ヘルを押し上げる。今後のマエケンの活躍から目が離せない。



## とどけよう スポーツの力

「とどけよう スポーツの力を東北へ！」というスローガンの下、東日本大震災復興支援の一部として「第18回ヒロシマ国際ハンドボール大会」が7月26日(金)～28日(日)の3日間、広島市東区スポーツセンターで開催された。参加した男子の湧水製菓は3チーム中2位、女子の広島メイプルレッズも4チーム中同じく2位という結果を残した。

湧水製菓の大会1日目の初戦は今大会で優勝した日本代表の強力なディフェンスを崩すことができず20-35で敗れたが、2日目のカザフスタン代表に25-40で圧勝し、続く3日目の最終戦江蘇省(中国)にも19-40で勝利した。広島メイプルレッズは初戦で今大会優勝の日本代表に一時は8点差をつけられたが、20分過ぎから日本代表の攻撃テンポを崩し驚異的な粘りで2点差まで追い上げ、28-30で惜敗した。続く2日目のカザフスタン代表との試合は接戦の中21-22で勝利し、最終日の江蘇省(中国)にも29-30で勝利を収めた。日本代表に惜敗を喫したが、広島メイプルレッズの呉成玉監督は攻めに手応えを感じていた。

なお、優秀選手賞には湧水製菓6番の野村浩輝選手と広島メイプルレッズ5番の大前典子選手が選ばれた。両チームそして、ハンドボールチームの活躍がスポーツの力となり、東北にエールを送ることができたのではないだろうか。